

# ピーク流量の増大

昭和30年代と比較して昭和50年代では、ピーク流量が増大し、流出波形も先鋭化している。

## 伏籠川

シミュレーションに基づく洪水到達時間およびピーク流量

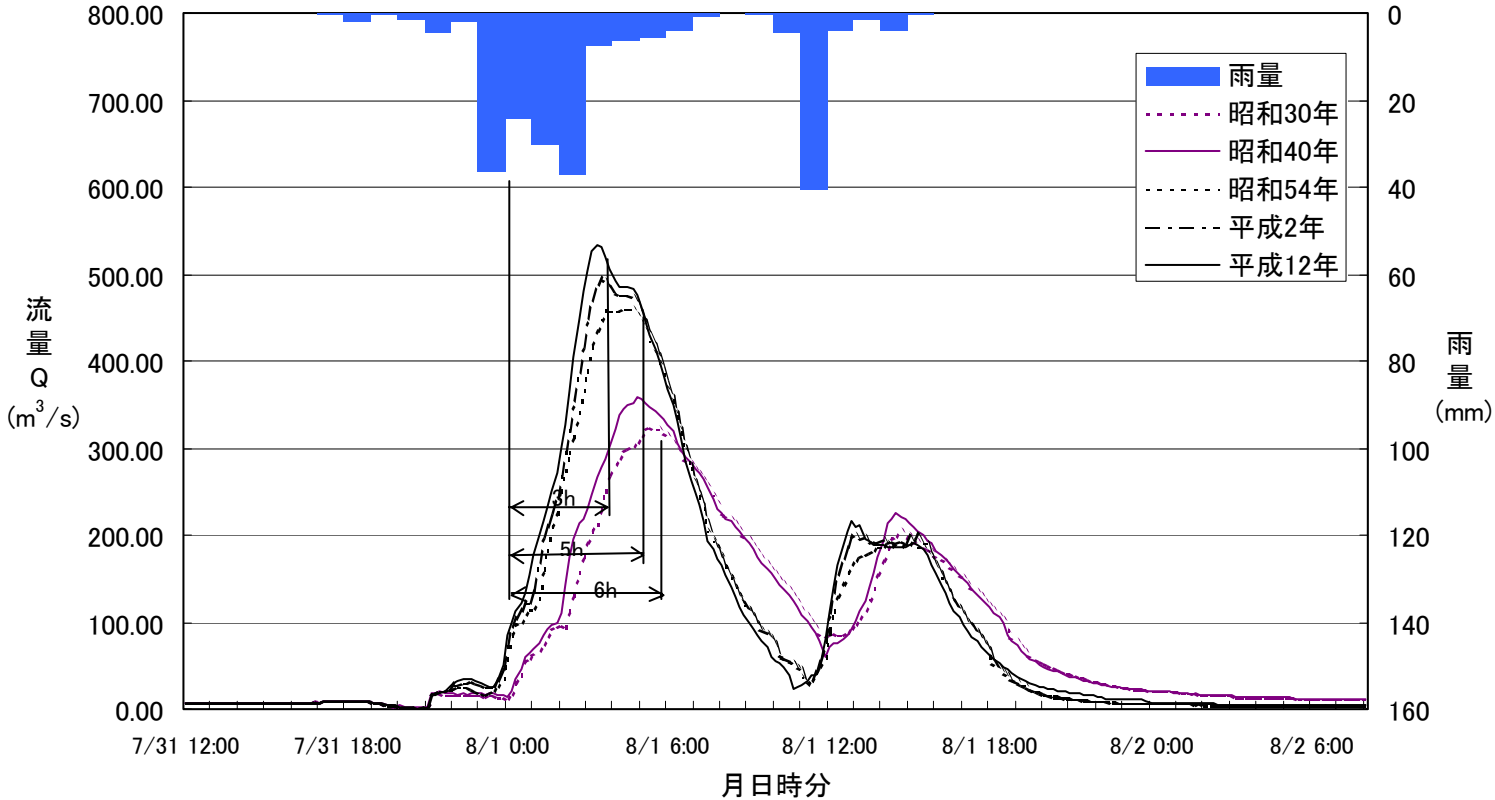
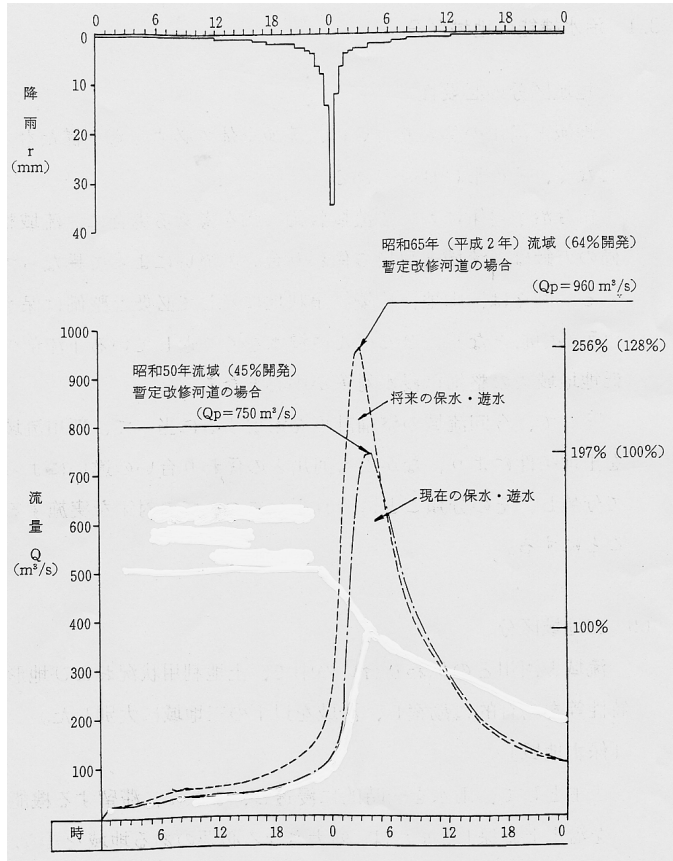


図2-11

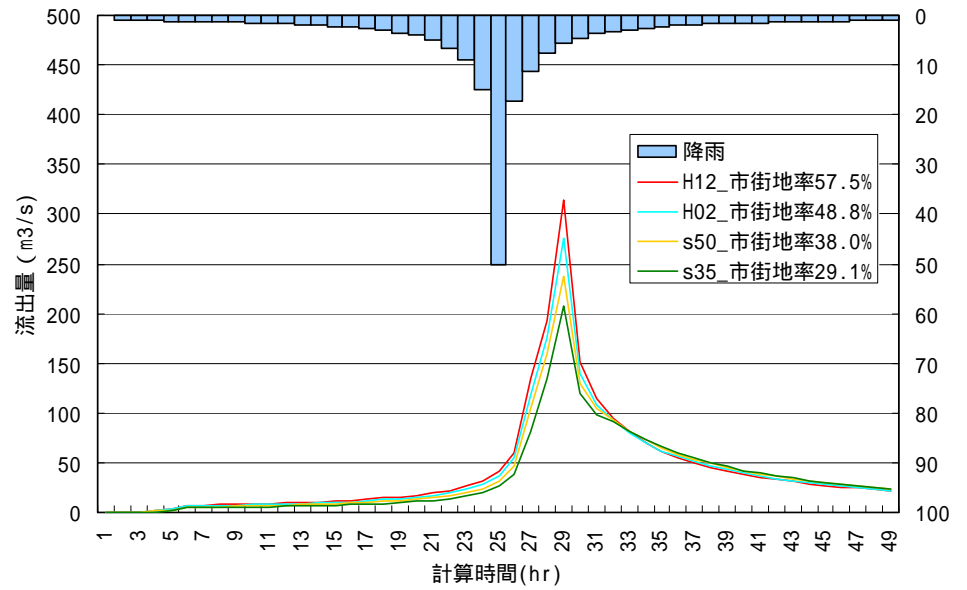
# 新川



(シミュレーションによる)

出典：新川流域整備計画書

# 境川(岐阜)



# 寝屋川

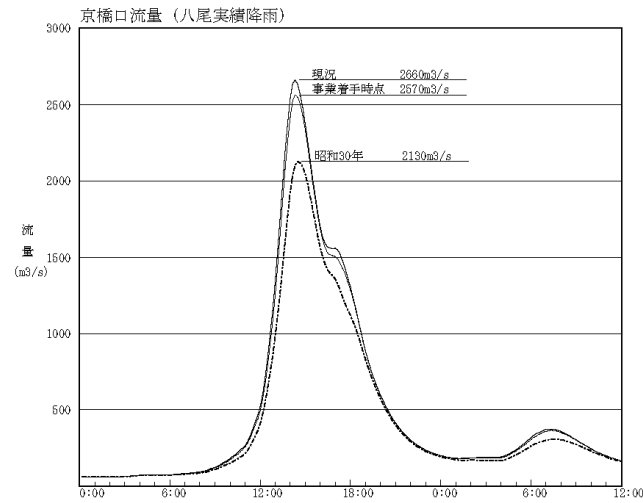
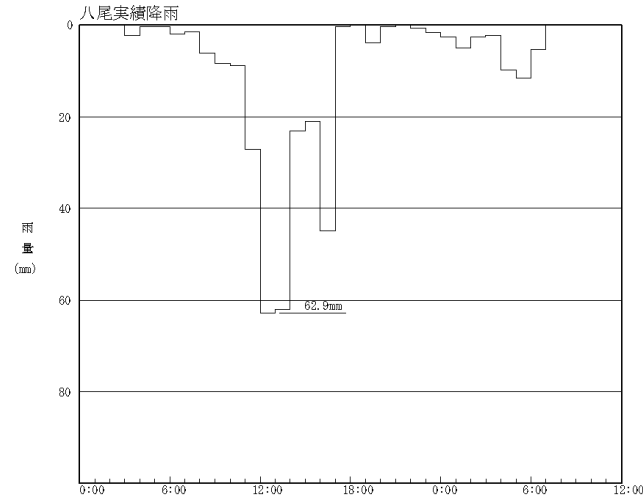
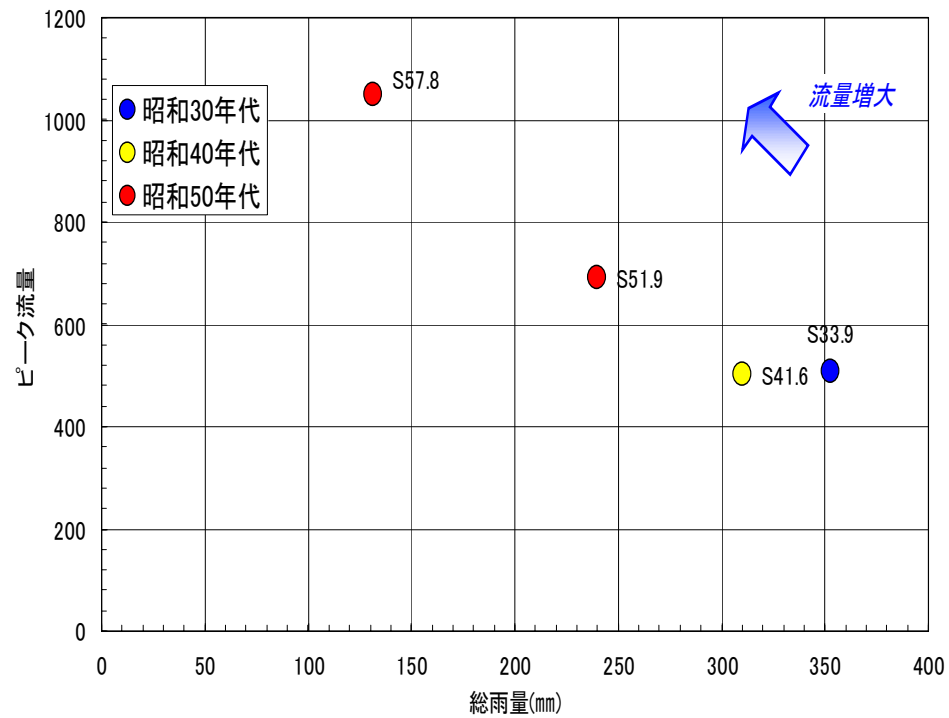


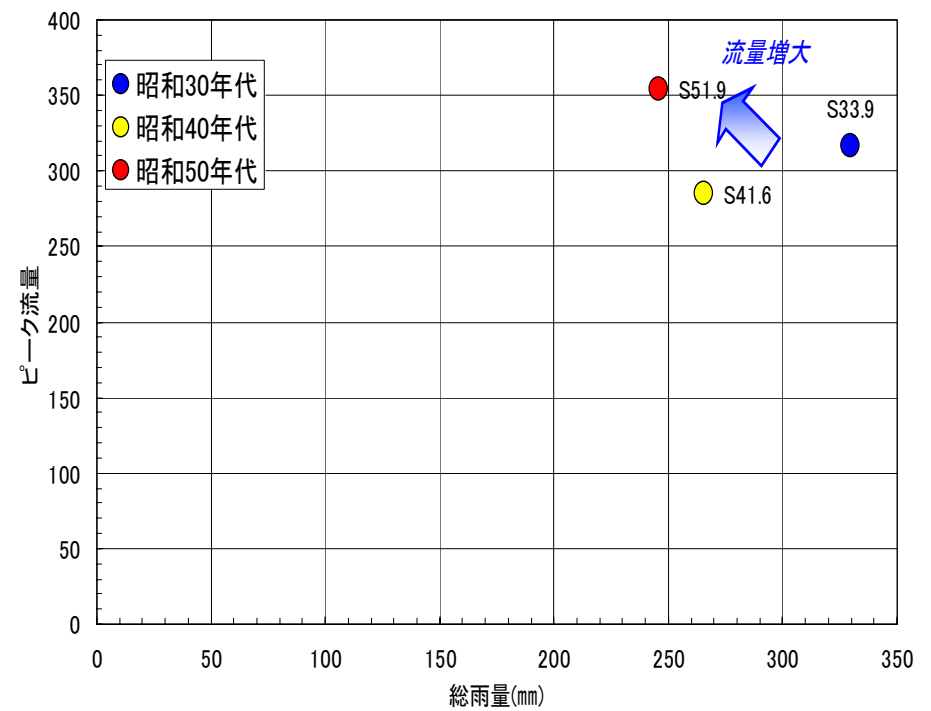
図2-13

# 従来より小規模な降雨でもピーク流量が増大する傾向が見られる

## 鶴見川

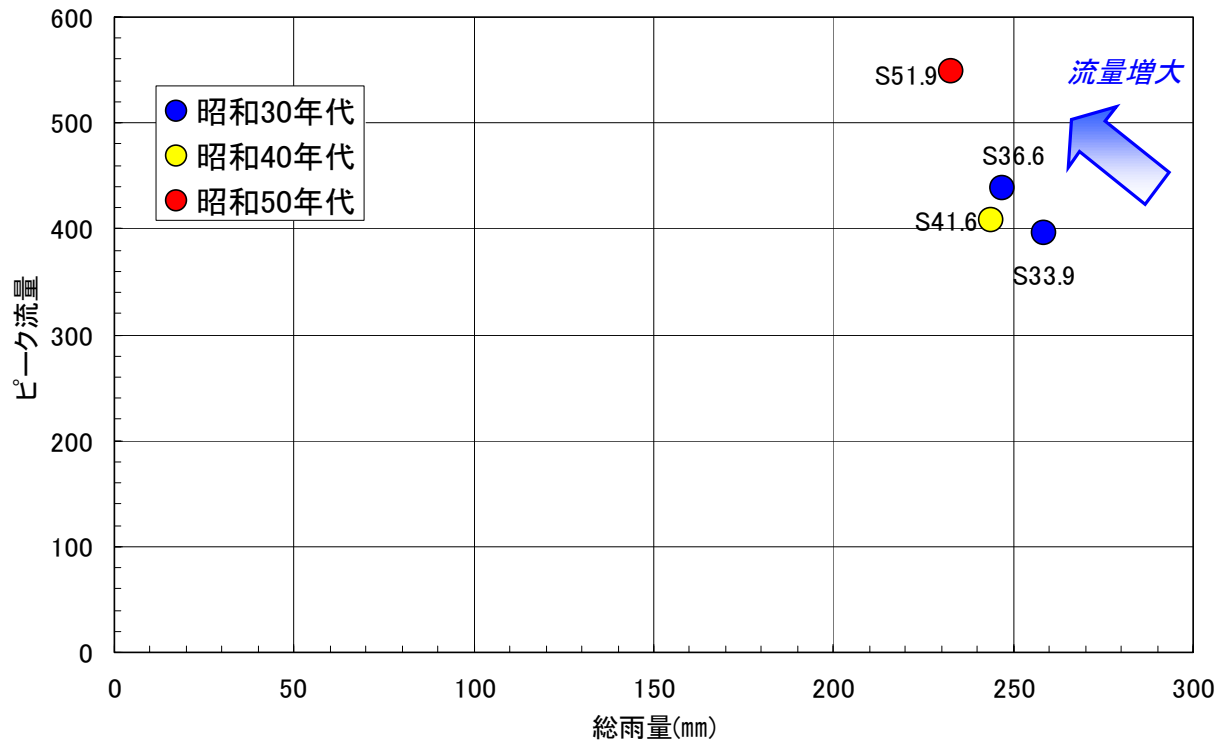


## 新河岸川



(実績洪水による)

中川・綾瀬川

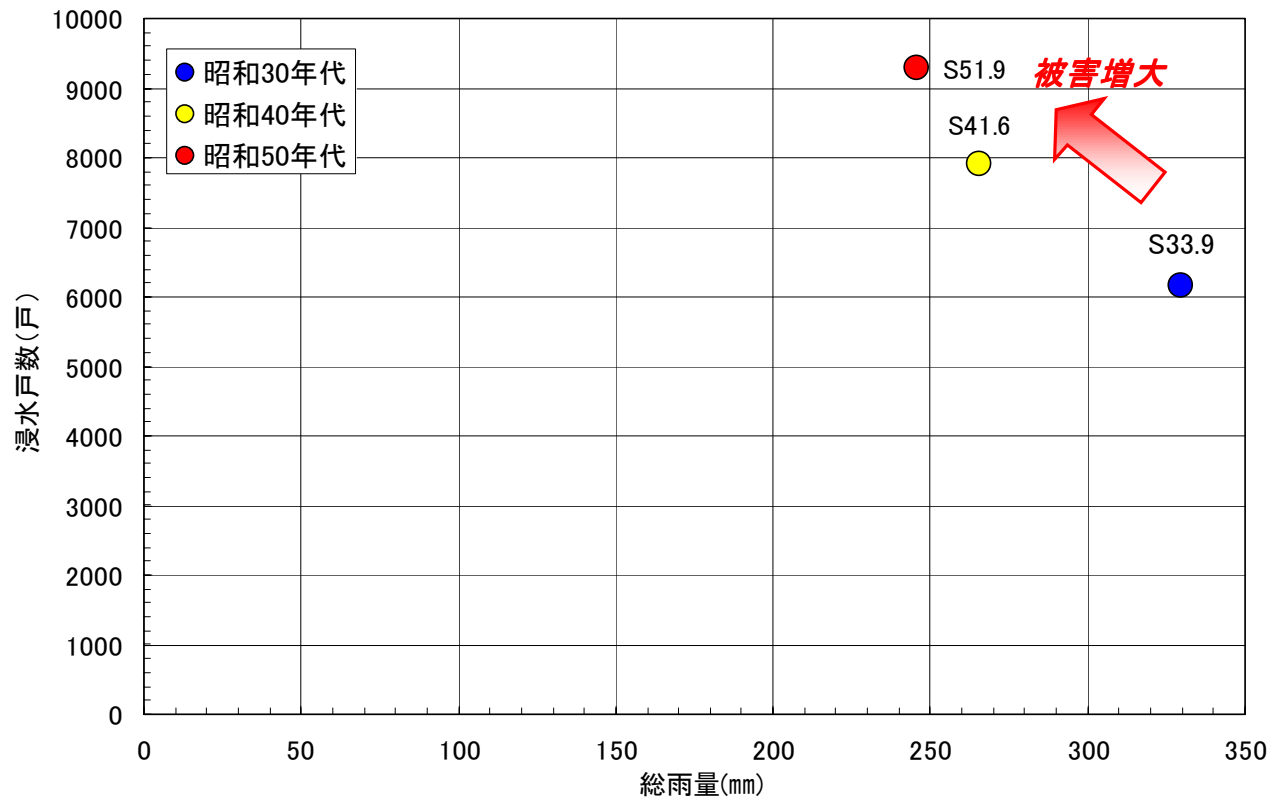


(実績洪水による)

図2-15

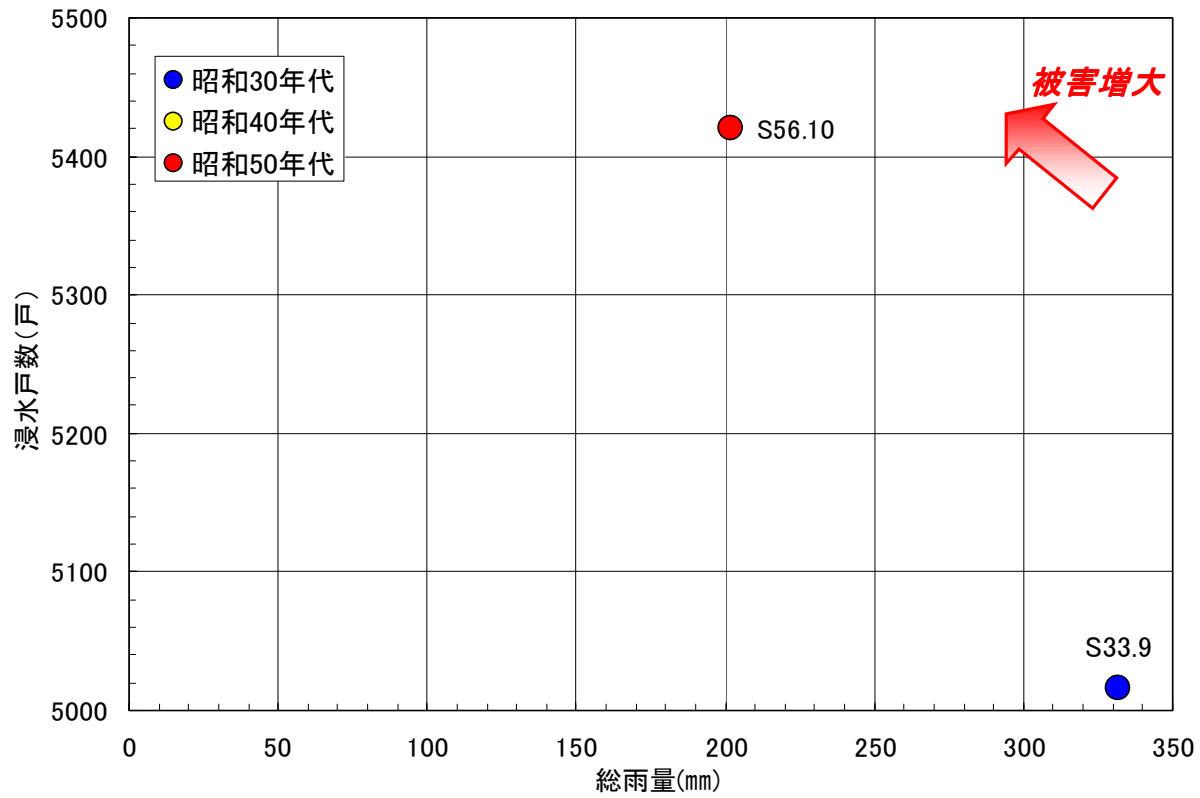
# 小規模な降雨でも浸水被害が発生

従来より小規模な降雨でも浸水戸数は増大する例が見られるが、河川改修がある程度進むと浸水戸数は減るので、この指標では全河川をうまく表現することはできない。



(実績洪水による)

真間川



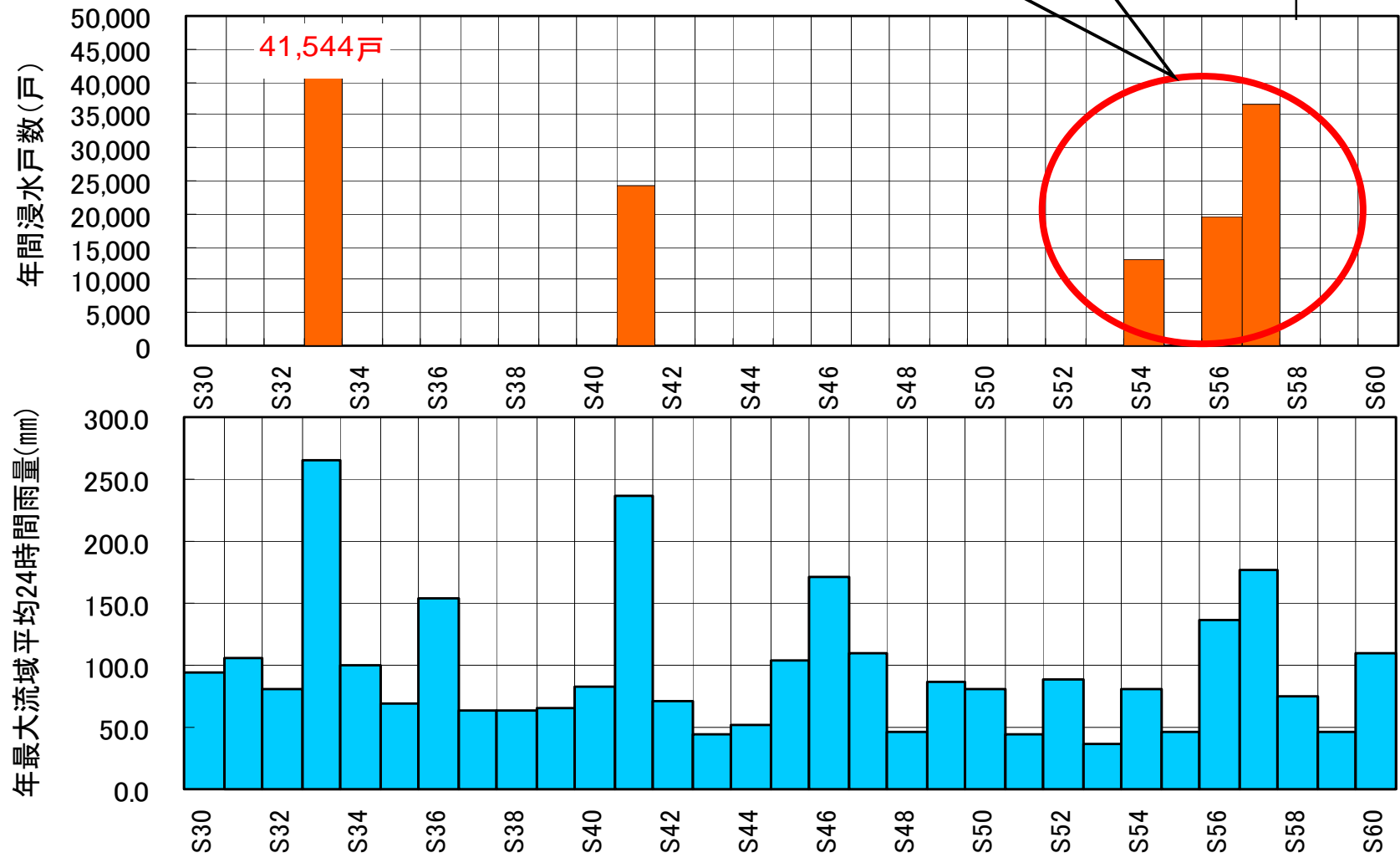
(実績洪水による)

図2-17

中川・綾瀬川

従来は被害の発生していなかった中小規模の降雨でも被害発生

総合治水対策着手



出典:水害統計、国土交通省資料